

## 「北陸電力グループの羅針盤(クオ バディス)2010」 平成 19 年度 経営の重点方針

当社グループでは、昨年 11 月に策定した中期経営方針「北陸電力グループの羅針盤(クオ バディス) 2010」の実現に向けて、取組みを進めてきた。しかしながら、基幹電源である志賀原子力 2 号機が、低圧タービンの羽根損傷により、7 月以降運転を停止する一方、原子力やその他の設備において、品質管理上の問題が多数発生したことから、当社グループは初年度より大きな試練に直面している。

この試練を乗り越え、グループの更なる成長・発展を目指すには、設備健全性の万全なる確保のもと、電力の安定供給の責務を確実に果たし、「信頼の回復」を図ることがとりわけ重要である。そのため、志賀原子力 2 号機の総点検を徹底して行い、原子力の安全・安定運転を実現することはもとより、発電や流通等の設備全般にわたる品質管理の強化と現場技術力の向上に全力で取り組む。さらに、グループ全体にコンプライアンスの徹底・定着を図る。

当社グループでは、順調に進捗している販売について、より継続的な努力を傾注しつつ、「スピード経営」と「正直経営」の実践のもと、グループ一丸となって果敢に困難に立ち向かい、逆境をバネに、将来の明るい展望を切り拓いていく。

### 重点方針

#### ○志賀原子力の安全・安定運転への取組み

- ・ 来年 4 月末までを目途に 2 号機の設備全般にわたる総点検を行い、さらに第一回定期検査を前倒して総点検の徹底を図ることで、設備の健全性を確認する
- ・ 地域の皆さま方のご理解のもと、整流板の設置による 2 号機の運転を再開するとともに、1・2 号機の安全・安定運転の徹底を図る
- ・ 耐震安全性確保への確実な取組みのもと、2 号機運転差止訴訟において、耐震安全性に関する主張・立証を尽くし、控訴審での勝訴を確実にする

#### ○安定供給確保への取組み

- ・ 電力需要の増加のもと、安定供給の確保を図るため、志賀原子力の安全・安定運転はもとより、石炭・石油火力の安定運用確保に向けた取組みを強化する
- ・ 流通設備においても、信頼度向上対策や需要動向を的確に反映した設備形成を進める

#### ○品質管理の強化と現場技術力の向上への取組み

- ・ 設備の信頼性確保やトラブルの根絶に向けて、施工管理や竣工検査の適正化を進めるとともに、請負工事者に対する品質管理の徹底を図る
- ・ 実作業機会の拡大・増加を図るとともに、技術レベルの確認表の活用や技術力認定制度の創設等により、現場技術力の向上を目指す

#### ○コンプライアンス(法令・ルール等の遵守)への取組み

- ・ グループ全体へのコンプライアンスの更なる徹底・定着を図り、コンプライアンス違反の撲滅を目指す

#### ○販売拡大とコストダウンへの取組み

- ・ グループ一丸となって、エコキュートを中心とした販売活動を強力に展開するとともに、石炭火力等の供給余力について、広域融通への有効活用を図る
- ・ 安定供給を大前提に、自律的・継続的なコストダウンに取り組むとともに、業務全般にわたり効率的な運営の徹底を図る

#### ○地球環境保全への取組み

- ・ 志賀原子力の安全・安定運転を基本に、グループ大での風力開発や木質バイオマス発電など、新エネルギーの導入を促進するとともに、京都メカニズムの活用を図り、環境目標の確実な達成を目指す

## 【参 考】

### 中期経営方針「北陸電力グループの羅針盤（クオ バディス）2010」

（平成17年11月策定）

#### ■ 目指す企業像

競争力ある電気事業をコアに総合エネルギー事業を展開し、北陸地域との共存共栄のもと、お客さまをはじめ皆さまから「信頼され選択される企業」を目指す

#### ■ 経営の方向性

北陸電力グループの英知と総力を結集し、原子力の安全・安定運転を大前提に「低廉・良質・安定・クリーン」な北陸電力ブランドの徹底強化と信頼感向上を図り、グループの持続的な成長・発展を目指す

#### ■ 経営目標

##### 【利益目標】

- 連結経常利益（2006～2010年度平均） 400億円 以上
  - 連結ROA（2006～2010年度平均） 3% 以上
- （注）ROA＝税引後営業利益/総資産

##### 【財務改善目標】

- 連結有利子負債残高（2010年度までに） 6,500億円 以下
- 連結自己資本比率（2010年度までに） 30% 以上

##### 【業務効率化目標】

- 業務効率向上 [2004年度対比]（2010年度までに） 20% 以上

##### 【販売拡大目標】

- 開発販売電力量（2005～2010年度累計） 20億kWh 以上

##### 【環境目標】

- CO2排出原単位 [1990年度対比]（2010年度） 20% 削減

#### ■ 基本方針・重点方策

##### I. 社会的責任を果たし、信頼を高める

1. 「安全・安定供給」の万全なる確保
2. 「環境先進企業」への積極的な取組み
3. 「活力と信頼感ある企業」の実現

##### II. 競争力を培い、企業価値を高める

1. 「販売力ナンバー・ワン」への挑戦
2. 「コスト競争力のトップランナー」の追求
3. 「グループ連携の強化」による総合力の向上

以 上